

資料 1

看護職等が受ける暴力・ハラスメントに対する実態調査票

看護職等が受ける暴力・ハラスメントに対する実態調査票

返送日：○年○月○日（○）必着でお願いします。

どちらかに☑を入れてください。

研究への参加に

同意します

同意しません

同意いただかない場合は、アンケートの提出は不要です。

本調査では暴力・ハラスメント（以下、暴力等とする）を以下のように定義します。

身体的暴力	物理的な力を用いて危害を及ぼすまたは物を壊す行為（例：なぐる、ける、物を投げつけるなど）
精神的暴力	個人の尊厳や価値を言葉によって傷つけたり、おとしめたり、敬意の欠如を示す行為（例：暴言、無視するなど）
セクシュアルハラスメント	意に添わない性的誘いかけや性的ないやがらせ行為（例：身体を触る、卑猥な発言など）

* 看護職に対する暴力・ハラスメントに関して包括的に把握している方（例えば、医療安全管理責任者など）がお答えください。

．回答者の属性と回答施設の概要

問1．回答者の職位・役割（該当する番号すべてに○をつけてください）

1. 看護部長 2. 副看護部長 3. 医療安全管理者 4. その他（ ）

問2．開設主体（該当する番号1つに○をつけてください）

1．厚生労働省（国立ハンセン病療養所等）	9．日本赤十字社
2．独立行政法人国立病院機構	10．済生会
3．国立大学法人	11．厚生農業協同組合連合会
4．独立行政法人労働者健康安全機構・地域医療機能推進機構	12．公共団体法人、公益財団法人
5．その他の国の機関（防衛省、法務省、宮内庁等）	13．医療法人
6．都道府県、市町村（一部事務組合を含む）	14．私立大学法人
7．社会保険関係団体（健康保険組合、共済組合など）	15．社会福祉法人
8．地方独立行政法人（公立大学法人を含む）	16．その他（ ）

問3．貴院に該当する番号に○をつけてください。

- 1．一般病院 2．精神科病院（精神科病棟のみを有する病院）
3．その他（ ）

問4. 病院全体の許可病床 () 床

問5. 看護職等の人数 () 人 本研究では准看護師、看護補助者を含みます

問6. 貴院の地域での主な役割について、該当する番号すべてに○をつけてください

1. 高度・専門的な入院医療を提供し、重度の急性期疾患に対応する
2. 急性期疾患で入院医療が必要な患者や、比較的軽度な急性期患者に対応する
3. 急性期や回復期、慢性期等の患者に対する複数の機能を持ち、地域のニーズに幅広く対応する
4. 急性期病院の後方支援やリハビリテーションの機能を持ち、在宅復帰を目指す患者に対応する
5. 長期にわたり療養が必要な疾患・障害のある患者に対応する
6. その他 ()

問7. 2019年9月1日現在で算定している入院基本料について、該当する区分すべてに○をつけてください

1. 急性期一般入院基本料	6. 特定機能病院入院基本料 (一般病棟、結核病棟、精神病棟)
2. 地域一般入院基本料	7. 専門病院入院基本料
3. 療養病棟入院基本料	8. 障害者施設等入院基本料
4. 結核病棟入院基本料	9. 入院一般基本料を算定していない
5. 精神病棟入院基本料	

問8. 暴力等に対するリスク管理の体制 (該当する番号に○をつけてください)

- (1) 担当部署 1. ある 2. なし
- (2) 医療安全管理者 1. 専任者がいる 2. 専従者がいる 3. 兼任者がいる 4. いない
- (3) 担当者 1. ある職種が担当 担当職種は医師・看護職・事務・その他 ()
2. 事務管理者が担当 担当職位は事務長/事務部長・事務次長・課長・係長・主任
3. 特に決まっていない
4. その他 ()

問9. 暴力等の対策の状況

1. 暴力等の対策を検討する委員会等の人数 () 人
2. 暴力等の対策を検討する会議の開催頻度 年に () 回
3. 暴力等の対応に関する研修の開催回数 () 回

．暴力等を予防するための管理体制

全職員を対象とした暴力等を予防するための対策について以下の質問に回答ください

問 10．貴院の「施設環境づくり」の実施状況について回答ください

		実施中	一部 実施	実施 せず	実施を 検討
1	施設の明るさ、音、スペース、温度、においなどが患者と医療従事者にとって快適な環境にしている	1	2	3	4
2	待合室の椅子などを快適に整え、ゆったりとした気分で過ごせる環境にしている（壁の配色やインテリア等）	1	2	3	4
3	待ち時間を減らし、残りの待ち時間がわかるような工夫や待ち時間の苦痛を軽減する工夫をしている（雑誌、新聞、テレビ、デバイス、アプリなど）	1	2	3	4
4	暴力等発生時に安全な場に避難できる経路を確保している	1	2	3	4
5	監視カメラや録音機（レコーダー）の数と設置場所を適切に定めている	1	2	3	4
6	職場を巡視して、暴力等が起こりやすい所を特定して、改善している	1	2	3	4

問 11．貴院の「患者との良好なコミュニケーションの工夫」の実施状況について回答ください

		実施中	一部 実施	実施 せず	実施を 検討
1	来院者に積極的に笑顔で挨拶と声掛けするよう職員に周知している	1	2	3	4
2	親切的な接遇を常に心掛けるよう職員に周知している	1	2	3	4
3	ロールプレイなどを取り入れた暴力等予防のためのコミュニケーショントレーニングを行っている	1	2	3	4
4	患者が相談出来る窓口や意見箱などをわかりやすい場所に設置している	1	2	3	4
5	患者・家族の満足度調査などを行い、意見（クレーム）や質問から積極的に改善のヒントを得て、実践している	1	2	3	4

問 12．貴院の「暴力等の方針やマニュアル等の作成、周知」の実施状況について回答ください

		実施中	一部 実施	実施 せず	実施を 検討
1	暴力等に該当する行為基準（暴力の定義）について明確にしている	1	2	3	4
2	医療機関の方針として、患者・家族等へ「いかなる暴力も容認しない」ことを周知している	1	2	3	4
3	全職員に暴力等の医療施設の対策について周知している	1	2	3	4
4	暴力等を容認しないとポスターや配布物やホームページに掲載している	1	2	3	4
5	暴力等の対応に関するマニュアルを作成している	1	2	3	4
6	緊急時に応援を呼ぶ手順や護身のための対応や避難についてマニュアルに記載している	1	2	3	4
7	暴力等の対応策をまとめた簡便なマニュアルを全職員に配布するなどして周知している	1	2	3	4

問 13．貴院の「暴力等の発生を防止するための体制づくり」の実施状況について回答ください

		実施中	一部 実施	実施 せず	実施を 検討
1	患者の状態や病状を把握して、暴力等の発生の可能性を評価し、予防や注意した対応をしている	1	2	3	4
2	警備員を配置して、巡回をすることで暴力等の発生を防止する体制を整えている	1	2	3	4
3	深夜の帰宅を避けるなどの勤務体制の工夫している	1	2	3	4
4	外来、病棟における単独勤務時間を回避・短縮している	1	2	3	4
5	過去に暴力等のある患者のスクリーニングをしている	1	2	3	4
6	暴力等の対応の訓練を受けた職員から支援を受けられる体制がある	1	2	3	4
7	暴力等の発生のリスクが高い場合、複数人でかかわる	1	2	3	4
8	問 10、11、12、13 の項目以外に、貴院で実施している取り組みがあればご記入ください				

・看護職等 に対する暴力等の実態 本研究では准看護師、看護補助者を含みます

問 14．看護職に対する暴力等の発生件数 1．把握している 2．把握していない

本調査での暴力等の定義は以下のものとします。

身体的暴力	物理的な力を用いて危害を及ぼすまたは物を壊す行為
精神的暴力	個人の尊厳や価値を言葉によって傷つけたり、おとしめたり、敬意の欠如を示す行為
セクシュアルハラスメント	意に添わない性的誘いかけや性的な嫌がらせ行為

問 15-1. 貴院の平成 30 年度における看護職等に対する暴力等の報告件数（内容・当事者別）

内容	行為者	報告件数
身体的暴力	患者本人によるもの	件
	家族、親族、患者関係者によるもの	件
精神的暴力	患者本人によるもの	件
	家族、親族、患者関係者によるもの	件
セクシュアルハラスメント	患者本人によるもの	件
	家族、親族、患者関係者によるもの	件

問 15-2. 貴院の平成 30 年度における看護職等に対する暴力等の応援・届出・相談別件数

看護職等に対する暴力等の報告件数のうち他部署や警備員などへの応援依頼件数	件
看護職等に対する暴力等の報告件数のうち警察への届出件数	件
看護職等に対する暴力等の報告件数のうち弁護士への相談件数	件

問 15-3. 貴院の平成 30 年度における看護職等に対する暴力等の影響

看護職等に対する暴力等の報告件数のうち労災の適用件数	件
看護職等に対する暴力等の報告件数のうち身体的受傷件数	件
看護職等に対する暴力等の報告件数のうち精神的不調となった件数	件
平成 30 年度の暴力が原因で退職した看護職等の人数	人
平成 30 年度の暴力が原因で離職した看護職等の人数	人

問 16．報告されない看護職等への潜在的な暴力等はあると思いますか

1．とてもあると思う	2．あると思う	3．どちらともいえない
4．あまりないと思う	5．全くないと思う	

・暴力等の発生時・発生後の対策の実施状況

全職員を対象とした暴力等の発生時・発生後の対策の実施状況について以下の質問に回答ください

問 17．貴院の暴力等の「発生時の対策」の実施状況について回答ください

		実施中	一部 実施	実施 せず	実施を 検討
1	元警察職員（警察 OB）に応援依頼する	1	2	3	4
2	警備員に応援依頼する	1	2	3	4
3	警察に通報する	1	2	3	4
4	マニュアルに決められた対応をとる	1	2	3	4
5	緊急時や夜間時、責任者へ定められた手順で連絡をとる	1	2	3	4
6	警備委託先への非常通報ボタンや非常電話を利用する	1	2	3	4
7	緊急コールができる機器（携帯電話、キッズ携帯、防犯ベル）を携帯し、必要時利用する	1	2	3	4
8	暴力等制止のための器具を使用する	1	2	3	4

問 18．貴院の暴力等の「発生後の対策」の実施状況について回答ください

		実施中	一部 実施	実施 せず	実施を 検討
1	発生後に記録し報告書を提出する	1	2	3	4
2	発生後には決められた対応手順で報告する	1	2	3	4
3	暴力等の行為者に迅速に対応策を検討する	1	2	3	4
4	暴力等のケースを振り返り院内で再発防止を検討する	1	2	3	4
5	暴力等のケースについて他の医療機関と情報共有する	1	2	3	4
6	警察に被害届を出す体制がある	1	2	3	4
7	弁護士に相談する体制がある	1	2	3	4
8	問 17、18 の項目以外に、貴院で実施している対策があればご記入ください				

．暴力等の被害を受けた職員への支援体制

全職員を対象とした暴力等の被害を受けた職員への支援体制について以下の質問に回答ください

問 19．貴院の「暴力等の被害を受けた職員への支援体制」について回答ください

		実施中	一部 実施	実施 せず	実施を 検討
1	暴力等の被害を受けた職員が利用できる相談窓口がある	1	2	3	4
2	被害を受けた職員に対し、必要な面談やケアを提供する体制がある	1	2	3	4
3	被害者のケアのために管理者を支援する体制がある	1	2	3	4
4	被害者やその場に居合わせた人が安心して職場へ復帰できる支援体制がある	1	2	3	4
5	行為者からの暴力等の再発を予防するために被害者の配置を検討する	1	2	3	4
6	暴力等の発生について全員で共有する場や手順を決め、さらなる被害を予防する	1	2	3	4
7	被害者を支援する病院以外の資源・サービスがある	1	2	3	4
8	その他、貴院で実施している支援体制があればご記入ください				

．暴力等の被害場面

貴院の看護職等 において、これまでに発生した患者・家族からの暴力等のうち、最も対応に困った事例を1つ挙げ、資料を参考にお書きください。

本研究では准看護師、看護補助者を含みます

参考資料

暴力の種類は、身体的暴力（なぐる、ける、物を投げつけるなど）、精神的暴力（暴言、無視するなど）、セクシュアルハラスメント（身体を触る、卑猥な発言など）のいずれかあるいはすべてを含んでもかまいません。

記載例

1.患者について

70代、女性、認知症の患者。薬物療法にて経過をみていた。人格の貧困化が目立ち、身だしなみや衛生管理が不十分で、自己に対しても無関心であった。行為失行の障害が見られ、日常生活に支障があった。

2.被害を受けた看護職について

30代、女性、主任看護師、看護師歴は13年であった。

3.暴力発生時の状況

午前10時頃、浴室にて看護師が患者の入浴介助を行おうとしていたところ、発生した。患者は看護師に「バカ」「アホ」「死ね」などの言葉を繰り返し、介助時には看護師の腕を中心に、つねる、ひっかくなどの暴力行為を行った。看護師は、腕にあざ、擦過傷を負った。

A. 患者について（年代、性別、疾患名、治療内容・治療経過、症状など）

--

B. 暴力等の被害を受けた看護職等について（年代、性別、職歴、職位など）

--

C. 発生時の状況について（発生時間、場所、暴力の内容、被害状況など）

--

D. 今回挙げていただいた事例において、最も対応に困ったことは何ですか。

--

ご協力ありがとうございました。